

成績書(例)

1. サンプル品番号

2010-S1102A : 骨材のふるい分け試験用試料

2. 試験方法

JIS A 1102:2014 : 骨材のふるい分け試験方法

※JIS A 1102 5.a) より試験を開始して下さい。

※試料は、試料のロットを代表するように骨材を採取し JIS A 1158 に従って縮分し乾燥したものとします。

3. 試験結果

試験結果は、表-1 に示す通り。

表-1 ふるい分け試験結果 (2010-S1102A)

		粗粒率
データ数	N	66
平均値	X	2.90
標準偏差	$\hat{\sigma}$	0.025
中央値	Me	2.90
正規四分位数範囲	$\hat{\sigma}^*$	0.025
最大値	Max	2.95
最小値	Min	2.85

※標準偏差、正規四分位数範囲は、JIS Z 8405 附属書 B の B.2 C)に基づき、補正後の値

・ zスコアの求め方

JIS Q 17043 適合性評価－技能試験に対する一般要求事項 附属書 B 技能試験の統計手法による。

従来法は、試験所全体の平均値及び標準偏差と各試験所における結果を用いて式(1)により、ロバスト法は、試験所全体の中央値及び正規四分位数範囲と各試験所における試験値を用いて式(2)により計算した。なお、評価に先立ち JIS Z 8402-2 測定方法及び測定結果の精確さに従い外れ値の検定を行った。

$$z = \frac{X_{lab} - X_{ref}}{\hat{\sigma}} \quad (\text{従来法}) \quad \dots \text{式(1)}$$

$$z = \frac{X_{lab} - Me}{\hat{\sigma}^*} \quad (\text{ロバスト法}) \quad \dots \text{式(2)}$$

ここに、 z : zスコア ($|z| \leq 2$:満足、 $2 < |z| < 3$:疑わしい、 $|z| \geq 3$:不満足)

X_{lab} ; 参加試験所の結果、 X_{ref} : 参加試験所全体の平均値

$\hat{\sigma}$: 技能評価のための標準偏差、 Me : 参加試験所全体の中央値

$\hat{\sigma}^*$: 技能評価のためのロバスト的標準偏差(正規四分位数範囲)

・ 標準偏差(正規四分位数範囲)の補正

JIS Z 8405(試験所間比較による技能試験のための統計的手法)附属書 B の B.2 により、均質性試験の結果は、次式を満たす必要がある。

$$s_s \leq 0.3\hat{\sigma}$$

$$s_s \leq 0.3\hat{\sigma}^*$$

ここに、 s_s : 試料間標準偏差(均質性試験結果の標準偏差)

$\hat{\sigma}$: 技能評価のための標準偏差

$\hat{\sigma}^*$: 技能評価のためのロバスト的標準偏差(正規四分位数範囲)

この式を満たさない場合、JIS Z 8405 附属書 B の B.2 c)に基づき、技能評価のための標準偏差(正規四分位数範囲)を補正する。

$$\hat{\sigma} = \sqrt{\hat{\sigma}_1^2 + s_s^2}$$

$$\hat{\sigma}^* = \sqrt{\hat{\sigma}_1^{*2} + s_s^2}$$

ここに、 $\hat{\sigma}_1$: 試料の不均質性に許容度を含まない技能試験の標準偏差

$\hat{\sigma}_1^*$: 試料の不均質性に許容度を含まない技能試験のロバスト的標準偏差(正規四分位数範囲)

以上

平成 28 年度骨材のふるい分けに関する共通試験実施要領

1. 目的

JIS Q 17025(試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項)では、試験結果の品質保証のために、試験の有効性を監視するための品質管理を計画し、実施することが要求されています。

本共通試験は、JIS Q 17025 への適合性、または JIS Q 17050 (適合性評価－供給者適合宣言)に基づく自己適合宣言を維持するための品質管理の一つとして、個々の試験所の実績を評定し、技術的能力を継続的に監視する機会を提供することを目的とします。

2. 試験方法

JIS A 1102:2014 骨材のふるい分け試験方法

※JIS A 1102 5.a) より試験を開始して下さい。

3. 試験実施期間

平成 28 年 10 月 24 日(月)～12 月 9 日(金)

4. 試料の種類

ふるい分け試験用 細骨材 500g×2 袋 (2 水準)

※試料は、試料のロットを代表するように骨材を採取し JIS A 1158 に従って縮分し乾燥したものとします。

5. 試料の発送

試料は、平成 28 年 10 月 21 日(金)に発送します。受領後、試料の種類・個数を確認のうえ、試験受取確認書に必要事項を記入の上、ファクシミリ(047-431-9489)で送信して下さい。

6. 試験結果の報告

(1) 試験データは、データシートに計算式は使用せず所定の桁数で半角入力して下さい。

(2) 試験データは、中央技術研究所の担当者宛にメールにて送信して下さい。

担当者：橋爪

返信先：crl-pt@zennama.or.jp

メール件名：【ふるい 16】(他の骨材試験結果とまとめて送付の場合は、骨材 16)

(3) 報告期限は、平成 28 年 12 月 9 日(金) 17:00迄です。

※これ以降は、データの差し替えを含め、受理できません。

※データ整理の都合がありますので、ワークシートは加工せずにデータ入力して下さい。

以上